

I. 次の楽譜はサン＝サーンス作曲、弦楽四重奏曲第1番 Op.115 の一部分である。下記の問い合わせに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④の転回音程になるように、下の楽譜の上方に全音符を書きなさい。  
 なお、転回音程については、複音程は単音程に直して答えること。

〈音程〉

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

〈転回音程〉

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。  
 旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を下属音とする旋律短音階

(b) ⑦を導音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。

(c) ⑦を第Ⅲ音とする和声短音階

(d) ⑦を導音とする長調の下属音を属音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問い合わせに答えなさい。

1.(1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。

(1) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_ (2) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

(3) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_ (4) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

(5) 種類\_\_\_\_\_ 転回形\_\_\_\_\_

2. 次の文中の〔 〕に調名を、《 》には関係調の名称を、〔 〕には和音の種類を書き入れなさい  
 (短調は和声短音階とする)。

a. (1)を下属和音とする調の《 》はハ短調である。

b. (2)を属和音とする短調の同主調の平行調は〔 〕である。

c. (3)と(4)を同時に含む調の下属和音は〔 〕である。

d. (4)をVIの和音とする調の属調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調 ((4)をVIの和音とする調の属調) を平行調とする調は〔 〕である。

属調) を平行調とする調は〔 〕である。

III. 次の楽語の意味を右から1つずつ選び、その番号を書きなさい。

meno mosso	
nobilmente	
pesante	
vivace	
ossia	
mezza voce	

- 意味：
- 1. ものすごく遅く
  - 2. あるいは
  - 3. 上品に
  - 4. 牧歌風に
  - 5. 速く
  - 6. 中ぐらいの速さで
  - 7. 今までより遅く
  - 8. 今までより速く
  - 9. 弱音器を使用して
  - 10. 音量を小さめて
  - 11. 重々しく
  - 12. 悲しげに

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。

A

B

(い)

(ろ)

C Allegro

pizz. mp

cresc.

cresc.

cresc.

mp

(は)

(に)

A \_\_\_\_\_

B \_\_\_\_\_

C (い) \_\_\_\_\_

(ろ) \_\_\_\_\_

(は) \_\_\_\_\_

(に) \_\_\_\_\_